

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	074								
事務事業名	江連都市下水道事業費				補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input checked="" type="checkbox"/> 決まっている (2019 年度まで) <input type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	08	項	04	目	04	事業	03
担当部	都市建設部	担当課	下水道課		担当係	工務係													
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : 常総市都市計画マスタープラン, 旧江連用水路整備基本計画)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : 下水道法, 都市計画法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称 :)													

2 事務事業の目的

⇒ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	2018年度末の整備率は、計画排水区域面積193.0haに対し、整備済排水区域面積155.2haにより80.4%である。既設の水路は元々、用水路であったことから流下能力が低く、沿線の市街化及び近年の降雨量の増加も相まって容量が不足し、周辺区域の冠水が生じている。	誰・何を対象に	水海道都市計画下水道事業の江連都市下水道	望ましい状態	旧江連用水路であった江連都市下水道を雨水排水幹線として整備し、大雨時における排水計画区域内の冠水を解消する。
どのような方法・手順で	既設水路は元々用水路であり、排水路としては流量断面が不足し流下能力が低いことから、当水路を改修し雨水排水能力を高める。 都市計画法及び下水道法に基づく事業認可期間については、随時延伸する。				

3 事務事業の主たる成果指標

⇒ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	排水区域面積	単位	ha	目標値	193	目標年次	年度	指標及び目標値設定の考え方 (又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	事業認可で定めた計画排水区域の面積を目標値とし目標年次を2019としたが、一部区間の地権者の対応策が見いだせない以上目標年次の設定ができない。
-----	--------	----	----	-----	-----	------	----	---	---

4 事務事業の実績 ①

⇒ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	2016年度		2017年度		2018年度																
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量															
事務事業を構成する主な業務	① 事業の計画	1回	① 事業の計画	1回	① 事業の計画	1回															
	② 補助申請	1回	② 補助申請	1回	② 補助申請	1回															
	③ 工事の管理・監督	1件	③ 工事の管理・監督	1件	③ 工事の管理・監督	1件															
	④ 委託業務の管理・監督	4件	④ 委託業務の管理・監督	2件	④ 委託業務の管理・監督	4件															
	⑤ 工事説明会	1回	⑤		⑤																
	⑥		⑥		⑥																
	⑦		⑦		⑦																
	⑧		⑧		⑧																
	⑨		⑨		⑨																
	⑩		⑩		⑩																
	⑪		⑪		⑪																
	⑫		⑫		⑫																
目標値に対する実績値		151 ha	目標値に対する実績値		153 ha	目標値に対する実績値		155 ha													
決算額	計	135,243,528 円	内訳	特定財源	105,705,946 円	一般財源	29,537,582 円	計	46,648,635 円	内訳	特定財源	38,294,816 円	一般財源	8,353,819 円	計	63,311,290 円	内訳	特定財源	46,067,040 円	一般財源	17,244,250 円
（住民一人あたりの行政コスト）		2,224 円		（住民一人あたりの行政コスト）		772 円		（住民一人あたりの行政コスト）		1,055 円											

5 担当者評価 ②

⇒ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標どおり 成果内容 事業認可期限の2019年度に向け、計画どおり事業を進めている。
問題点	2019年度施工箇所においては、水路に家屋が隣接する沿線の地権者から、軟弱地盤のため施工に伴う家屋への影響を懸念されており、その懸念事項に対し適切な工法が選定できなかったことから、今後は、適切な工事工法の調査・検討及び当該地権者との交渉が必要とされる。

6 担当部長及び担当課長評価 ③

⇒ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

全区間にわたり、事業を完成させて初めて目的が達成される。そのためには、完成に向けて進めていく必要がある。計画に変更が生じる場合には、有効性・経済性・施工性を考慮して総合的に検討を行い、事業の完成に努める。

7 実施計画 ④

⇒ 今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	2019年度				2020年度				2021年度									
事業内容	※2018年度から繰越した予算で事業を行います。 【繰越明許費】 4,000,000円 ●江連都市下水道事業認可変更業務(事業期間延長) ●施工工法の調査・検討				●江連都市下水道測量・実施設計業務 L=1,000m ●柵渠布設工事 L=25.0m ●工事積算資料作成業務 ●工事の管理・監督 ●施工工法の調査・検討				●柵渠布設工事 L=80m ●工事積算資料作成業務 ●工事の管理・監督 ●施工工法の調査・検討									
成果指標	指標名	排水区域面積	単位	ha	目標値	155	指標名	排水区域面積	単位	ha	目標値	155	指標名	排水区域面積	単位	ha	目標値	155
予算額	歳出	計	0 千円		歳出	計	15,138 千円		歳出	計	15,098 千円							
		特定財源	0 千円			特定財源	0 千円			特定財源	0 千円							
	歳入	一般財源	0 千円		歳入	一般財源	15,138 千円		歳入	一般財源	15,098 千円							
		計	千円			計	15,138 千円			計	15,098 千円							

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、財政課と個別に議論をした上で、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。
水路にはフタがないところもあり、大雨の際危険であるため、計画通り整備を進めて欲しい。

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

冠水対策は市民生活に直結する事業であるので、経営成績を把握し計画通りの推進に努められたい。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ⑥

⇒ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容